

アマゴ、ヤマメの人工授精

アマゴやヤマメは、県山間部の澄んだ水を利用して養殖が行われ、地域の特産品にされています。また、養殖だけでなく、河川の漁業協同組合等が稚魚を放流していて、釣りの対象種として人気があり、貴重な観光資源となっています。稚魚は養殖用、放流用ともに、10月中下旬に親魚から人工的に卵と精子を採取し、授精、ふ化させて育てます。

アマゴ(サツキマスの陸封型)、サツキマス(降海型)

サツキマスの幼魚ないし河川で生活中的ものをアマゴと呼ぶ。体側に黒色斑紋が並び、黒色と朱色の斑点が散在する。朱色の斑点がある点でヤマメと異なる。分布域は神奈川県西部以西の本州太平洋側、瀬戸内海側、四国、九州の一部。全長約30cm。



ヤマメ(サクラマスの陸封型)、サクラマス(降海型)

サクラマスの幼魚ないし河川で生活中的ものをヤマメと呼ぶ。体側に黒色斑紋が並び、黒色斑点が散在する。朱色の斑点がない点でアマゴと異なる。分布域は北海道、関東以北の太平洋側、日本海側全域、九州の大部分。全長約30cm。



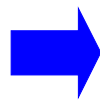
- ① **採精** 水が混じらないように雄の魚体をよく拭いて、雄の腹をしごきながら精液をシャーレに採取する。



- ② **採卵** 水が混じらないように雌の魚体をよく拭いて、雌の腹をしごきながら卵をボウルに採取する。



- ③ **媒精** 卵を等張液に浸し、精液を加えて混ぜ、1~2分静置した後、真水を加えて受精を促す。そのまま2~3分静置する。



- ④ **収容** 2~3分静置した後、ふ化盆に卵を移す。1枚のふ化盆に千粒くらいの卵を入れたものを数枚重ねてひもで縛ってふ化槽に収容する。



ふ化槽に収容した卵は、水温によりますが、約1ヶ月半でふ化します



アマゴ仔魚

【技術の活用】人工授精、採卵技術の活用、普及により種苗が安定して生産出来ることで、計画的な養殖業の経営や河川への種苗放流が可能になります。また、内水面漁業センターでは、児童生徒を対象とした人工授精及び採卵教室を開催し、学校教育における環境学習を推進するとともに、広く内水面漁業の振興に努めています。